



平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)



平成22年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日伝

コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 西木 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長・IR担当 (氏名) 吉田 富一

TEL 06-7637-7000

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 38,547 | 49.6 | 1,610 | 472.3 | 1,695 | 368.4 | 939 | |
| 22年3月期第2四半期 | 25,759 | 44.6 | 281 | 89.2 | 361 | 87.1 | 38 | 97.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 59.70 | |
| 22年3月期第2四半期 | 2.43 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 61,901 | 50,641 | 81.8 | 3,217.92 |
| 22年3月期 | 61,223 | 50,498 | 82.5 | 3,208.85 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 50,641百万円 22年3月期 50,498百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 22年3月期 | | 0.00 | | 25.00 | 25.00 |
| 23年3月期 | | 0.00 | | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 35.00 | 35.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 76,500 | 30.5 | 3,070 | 139.1 | 3,200 | 123.7 | 1,800 | 223.4 | 114.38 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料] P. 4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年3月期2Q | 15,943,000株 | 22年3月期 | 15,943,000株 |
| 期末自己株式数 | 23年3月期2Q | 205,670株 | 22年3月期 | 205,670株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 23年3月期2Q | 15,737,330株 | 22年3月期2Q | 15,738,562株 |

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 3. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 【第2四半期累計期間】 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| (生産、受注及び販売の状況) | 9 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とする新興諸国が世界経済を牽引し輸出が増加、生産活動や企業収益が改善するなど、景況感に回復の兆しが現れてきました。しかしながら、厳しい雇用環境やデフレ状況が続いているほか、急激な円高の進行や株安など、景気下押しのリスクも強まっており、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、好調なアジア経済の需要にも支えられて素材関連、半導体関連が伸びたほか、工作機械の受注にも回復傾向が見受けられ、国内企業収益の改善もあって、設備投資意欲にも一部持ち直しの動きが出てきました。

このような状況下で、平成22年7月27日付のプレスリリースでお知らせいたしましたとおり、海外拠点として、「日伝(タイ)株式会社」をタイのバンコクに設立したほか、当社の100%子会社であります「日伝国際貿易(上海)有限公司」が2番目の拠点として天津事務所を開設し、ともに8月より営業を開始いたしました。

また、『2010(TWO-TEN) 社員一人ひとりが創業者 ー未来を拓くー』を今期の基本方針として、社員自ら考えて自立的に行動し、幅広い業界に対応できる商品を取扱い、物流機能を有する当社の強みが発揮できるように、ユーザーの視点に立って、提供価値と利便性を追求し、環境の変化に対応すべく営業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高385億4千7百万円(前年同期比49.6%増)、営業利益16億1千万円(前年同期比472.3%増)、経常利益16億9千5百万円(前年同期比368.4%増)となり、四半期純利益につきましては、9億3千9百万円(前年同期は3千8百万円)と予想を上回る増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ6億7千7百万円増加し、619億1百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ8億9千万円増加し、437億9千3百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が24億6千1百万円増加、現金及び預金が22億8千5百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億1千2百万円減少し、181億7百万円となりました。これは、有形固定資産が1億7千7百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ5億3千5百万円増加し、112億6千万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ6億3千6百万円増加し、86億2千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億4千7百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1億1百万円減少し、26億3千7百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金が5億4千6百万円増加したこと等により前事業年度末に比べ1億4千2百万円増加し、506億4千1百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ22億8千8百万円減少し210億5千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、13億2千2百万円（前年同四半期において得られた資金40億1千4百万円）となりました。これは主に、売上債権の増加が23億9千4百万円、たな卸資産の増加が7億9千7百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億2千9百万円（前年同四半期において使用した資金4億6千6百万円）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が5億1千1百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4億3千6百万円（前年同四半期において使用した資金6億7千4百万円）となりました。これは、配当金の支払額が3億9千3百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成22年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

② 表示方法の変更(参考)

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間において、区分掲記しておりました営業外収益の「受取利息」は、営業外収益総額の100分の20以下となったため、当第2四半期累計期間より営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 21,301 | 23,586 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,091 | 15,630 |
| 商品 | 3,977 | 3,179 |
| その他 | 439 | 518 |
| 貸倒引当金 | △16 | △12 |
| 流動資産合計 | 43,793 | 42,903 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 9,665 | 9,842 |
| 無形固定資産 | 364 | 433 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 8,098 | 8,080 |
| 貸倒引当金 | △20 | △35 |
| 投資その他の資産合計 | 8,077 | 8,044 |
| 固定資産合計 | 18,107 | 18,320 |
| 資産合計 | 61,901 | 61,223 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,954 | 6,707 |
| 賞与引当金 | 427 | 326 |
| その他 | 1,240 | 952 |
| 流動負債合計 | 8,622 | 7,986 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 250 | 206 |
| その他 | 2,386 | 2,532 |
| 固定負債合計 | 2,637 | 2,738 |
| 負債合計 | 11,260 | 10,724 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,368 | 5,368 |
| 資本剰余金 | 7,283 | 7,283 |
| 利益剰余金 | 38,094 | 37,548 |
| 自己株式 | △560 | △560 |
| 株主資本合計 | 50,185 | 49,639 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 456 | 859 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 0 |
| 評価・換算差額等合計 | 456 | 859 |
| 純資産合計 | 50,641 | 50,498 |
| 負債純資産合計 | 61,901 | 61,223 |

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 25,759 | 38,547 |
| 売上原価 | 22,008 | 33,053 |
| 売上総利益 | 3,751 | 5,493 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,470 | 3,882 |
| 営業利益 | 281 | 1,610 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 44 | — |
| 仕入割引 | 98 | 159 |
| その他 | 61 | 84 |
| 営業外収益合計 | 205 | 244 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42 | 41 |
| 売上割引 | 75 | 112 |
| その他 | 6 | 6 |
| 営業外費用合計 | 124 | 160 |
| 経常利益 | 361 | 1,695 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 20 | — |
| その他 | 1 | — |
| 特別利益合計 | 21 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | — | 42 |
| 投資有価証券評価損 | 272 | — |
| その他 | — | 1 |
| 特別損失合計 | 272 | 44 |
| 税引前四半期純利益 | 111 | 1,650 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 107 | 783 |
| 法人税等調整額 | △34 | △71 |
| 法人税等合計 | 72 | 711 |
| 四半期純利益 | 38 | 939 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 111 | 1,650 |
| 減価償却費 | 314 | 277 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,773 | △2,394 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 288 | △797 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 527 | 278 |
| その他 | 49 | 181 |
| 小計 | 4,063 | △803 |
| 利息及び配当金の受取額 | 84 | 67 |
| 利息の支払額 | △42 | △41 |
| 法人税等の支払額 | △90 | △544 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,014 | △1,322 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △521 | △511 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2 | △72 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △22 | △31 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 50 | 100 |
| その他 | 28 | △14 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △466 | △529 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △3 | — |
| 配当金の支払額 | △629 | △393 |
| その他 | △40 | △42 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △674 | △436 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,872 | △2,288 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 21,152 | 23,339 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 24,025 | 21,050 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(生産、受注及び販売の状況)

① 販売実績

| 期別 | 前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | | 当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | | 比較増減 |
|--------|---|----------------|---|----------------|-----------------|
| 区分 | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) |
| 動力伝導機器 | 11,836 | 45.9 | 17,571 | 45.6 | 5,734 |
| 産業機器 | 5,556 | 21.6 | 7,686 | 19.9 | 2,129 |
| 制御機器 | 8,366 | 32.5 | 13,289 | 34.5 | 4,922 |
| 合計 | 25,759 (263) | 100.0 (1.0) | 38,547 (535) | 100.0 (1.4) | 12,787 (271) |

(注) 1 ()内は輸出高及び輸出比率であり、内数であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

| 期別 | 前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | | 当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | | 比較増減 |
|--------|---|--------|---|--------|---------|
| 区分 | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) |
| 動力伝導機器 | 9,592 | 44.2 | 15,171 | 44.8 | 5,578 |
| 産業機器 | 4,804 | 22.1 | 6,748 | 19.9 | 1,943 |
| 制御機器 | 7,325 | 33.7 | 11,932 | 35.3 | 4,606 |
| 合計 | 21,723 | 100.0 | 33,851 | 100.0 | 12,127 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。